

2022年7月 東京地区百貨店売上高概況

2022年8月23日

I. 概況

| | |
|---------------|--|
| 1. 売上高総額 | 1,248億円余 |
| 2. 前年同月比(増減率) | 17.6%(11か月連続プラス) |
| 3. 店頭・非店頭の増減 | 店頭17.5%(90.2%)：非店頭19.1%(9.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比 |
| 4. 調査対象百貨店 | 12社 24店 (2022年6月対比±0店) |
| 5. 総店舗面積 | 795,202㎡ (前年同月比：-1.1%) |
| 6. 総従業員数 | 14,894人 (前年同月比：-5.1%) |
| 7. 3か月移動平均値 | 12-2月 12.9%、1-3月 13.2%、2-4月 14.2%、 3-5月 33.1%、4-6月 34.3%、5-7月 30.2% |

[参考] 2021年7月の売上高増減率は8.0%

【特徴】

- (1) 7月の東京地区は、売上高17.6%増(11か月連続)、入店客数18.4%増(10か月連続)と、前年実績を上回った。月後半はコロナ感染急拡大による客数減が見られたが、影響は限定的で、高額品の活況や夏物衣料の伸長が月全体の売上を牽引した。コロナ前の2019年比では、売上高は8.4%減、免税売上を除いた国内売上では2.4%減と、引き続き回復傾向を維持している。なお、入店客数は25.8%減であった。
- (2) 商品別では、4か月連続で主要5品目全てプラスとなった。衣料品(23.7%増/10か月連続)は、早期の梅雨明けと記録的な猛暑で、紳士、婦人、子供服共に盛夏商材が好調に推移し、特にカジュアル衣料やサンダルの動きが好調だったほか、晴雨兼用傘、帽子、サングラスが伸長した。更に夏休みの行楽需要を受け、アウトドアやトラベル用のアイテムにも動きが見られた。
- (3) 身のまわり品(35.4%増/11か月連続)や雑貨(24.2%増/11か月連続)は、ラグジュアリーブランドの高伸で前年比3割前後の増加で推移した。また、一部海外ブランドの時計等高額品や化粧品では、価格改定前の駆け込み需要も見られた。
- (4) 食料品(2.4%増/11か月連続)は、月後半の客数減の影響を受け、生鮮食品(5.4%減)が苦戦したが、菓子(10.8%増)は手土産・ギフト需要が継続し依然好調を維持している。中元商戦は店頭・ネット共にほぼ前年並みで推移している。
- (5) 8月中間段階の商況は、前年のデルタ株によるコロナ感染急拡大による反動から、前年比約35%増(8/17時点)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
 - ①増加した：16店、②変化なし：0店、③減少した：1店
- (3) 7月歳時記(中元、クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数13店舗)
 - ①増加した：6店、②変化なし：4店、③減少した：3店

東京地区百貨店 売上高速報 2022年7月

| | 売上高(千円) | 構成比(%) | 対前年増減(-)率(%) |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|
| 総 額 | 124,845,947 | 100.0 | 17.6 |
| 紳士服・洋品 | 8,111,890 | 6.5 | 17.8 |
| 婦人服・洋品 | 17,581,953 | 14.1 | 28.2 |
| 子供服・洋品 | 1,608,175 | 1.3 | 17.7 |
| その他衣料品 | 1,872,202 | 1.5 | 16.3 |
| 衣 料 品 | 29,174,220 | 23.4 | 23.7 |
| 身のまわり品 | 20,528,828 | 16.4 | 35.4 |
| 化粧品 | 8,933,180 | 7.2 | 15.4 |
| 美術・宝飾・貴金属 | 15,251,649 | 12.2 | 34.4 |
| その他雑貨 | 4,179,653 | 3.3 | 11.3 |
| 雑 貨 | 28,364,482 | 22.7 | 24.2 |
| 家 具 | 1,430,669 | 1.1 | 14.5 |
| 家 電 | 725,200 | 0.6 | 24.7 |
| その他家庭用品 | 2,783,279 | 2.2 | -0.7 |
| 家 庭 用 品 | 4,939,148 | 4.0 | 6.6 |
| 生 鮮 食 品 | 4,595,332 | 3.7 | -5.4 |
| 菓 子 | 10,043,471 | 8.0 | 10.8 |
| 惣 菜 | 7,199,968 | 5.8 | 1.6 |
| その他食料品 | 13,482,027 | 10.8 | 0.0 |
| 食 料 品 | 35,320,798 | 28.3 | 2.4 |
| 食 堂 喫 茶 | 2,312,376 | 1.9 | 50.5 |
| サ ー ビ ス | 1,903,274 | 1.5 | 36.4 |
| そ の 他 | 2,302,821 | 1.8 | -7.7 |

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

| | | 対前年増減(-)率(%) |
|------|------------------------|--------------|
| 商品券 | 2,559,924 千円 | -2.8 |
| 従業員数 | 14,894 人 | -5.1 |
| 店舗面積 | 795,202 m ² | -1.1 |
| 営業日数 | 31.0 日 | 前年 31.0 日 |

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全ての品目がプラスとなり、衣料品、身のまわり品、雑貨が二桁増となった。その他の品目は、子供服・洋品、家具、家電が2か月ぶりにプラスとなったほか、菓子、惣菜が17か月連続でプラスとなった一方、生鮮食品が2か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

| 商品別 | 売上前年比 (増減率) | 寄与度 | トレンド |
|---------------|----------------|-------------|------------------|
| 総額 | 17.6 | — | 11か月連続プラス |
| 紳士服・洋品 | 17.8 | 1.2 | 9か月連続プラス |
| 婦人服・洋品 | 28.2 | 3.6 | 11か月連続プラス |
| 子供服・洋品 | 17.7 | 0.2 | 2か月ぶりプラス |
| その他衣料品 | 16.3 | 0.2 | 5か月連続プラス |
| 衣料品 | 23.7 | 5.3 | 10か月連続プラス |
| 身のまわり品 | 35.4 | 5.1 | 11か月連続プラス |
| 化粧品 | 15.4 | 1.1 | 11か月連続プラス* |
| 美術・宝飾・貴金属 | 34.4 | 3.7 | 18か月連続プラス* |
| その他雑貨 | 11.3 | 0.4 | 5か月連続プラス* |
| 雑貨 | 24.2 | 5.2 | 11か月連続プラス |
| 家具 | 14.5 | 0.2 | 2か月ぶりプラス |
| 家電 | 24.7 | 0.1 | 2か月ぶりプラス |
| その他家庭用品 | -0.7 | -0.0 | 4か月ぶりマイナス |
| 家庭用品 | 6.6 | 0.3 | 4か月連続プラス |
| 生鮮食品 | -5.4 | -0.2 | 2か月連続マイナス* |
| 菓子 | 10.8 | 0.9 | 17か月連続プラス* |
| 惣菜 | 1.6 | 0.1 | 17か月連続プラス* |
| その他食料品 | 0.0 | 0.0 | 2か月ぶりプラス* |
| 食料品 | 2.4 | 0.8 | 11か月連続プラス |
| 食堂喫茶 | 50.5 | 0.7 | 5か月連続プラス |
| サービス | 36.4 | 0.5 | 4か月連続プラス |
| その他 | -7.7 | -0.2 | 5か月ぶりマイナス |
| 商品券 | -2.8 | -0.1 | 2か月連続マイナス |

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>